

理 由 書

熊本都市計画 益城町宮園一ノ迫地区計画

当地区は、益城町中心市街地北側に位置しており、地区周辺部には、地区幹線道路グランメッセ木山線、県道益城菊陽線の道路網が形成され、沿線には陸上自衛隊熊本送信所や益城幼稚園、災害公営住宅が立地している。

本計画は、平成28年4月に発生した熊本地震により、県道熊本高森線拡幅整備事業や都市計画道路事業などの復興事業が進展するなかで、住宅再建に向けた住宅地の確保が求められていることから、新住宅エリア地内に宅地造成を行い、復興事業により移転を余儀なくされる方々が継続して本町に住み続けて、安心して生活再建を進めていくことを目的としている。

当計画地は、「益城町都市計画マスタープラン」の将来土地利用計画では、新住宅市街地の形成を図ることとしている。また、「第6次益城町総合計画」では計画的な土地利用推進の基本方針として新住宅エリアの整備推進を図ることを掲げており、復興に寄与する住宅や商業・サービス・防災・公共機能を配置するとされている。

このため、「復興に寄与する住宅地の整備」「居住者の利便性・快適性を確保する施設等の整備」「居住者の安全を確保する施設等の整備」を推進するため、地区計画を決定するものである。